

F₁ヘリアンサス(ヒマワリ) バラード™

周年出荷のできる手頃なポット・ヘリアンサス!

- ダークセンターとゴールドイエローのコントラストがとても美しい、矮性のF₁ヒマワリです。
- **バラード™**は、花粉が落ちない品種なので用途の幅も広がります。
- 花粉が出ないということは、**バラード™**は花粉アレルギー等の方のそばに置いても問題の出にくい品種といえます。
- **バラード™**の葉は強くやや光沢があるので、ウドンコ病などにもかかりにくい特徴があります。
- ギフト用にも最適です。

本品種の学名: *H. annuus* (Sunflower)

種子粒数: 95 粒/グラム

発芽ステージ

発芽温度

20-22°C

播種

大きめのサイズのトレイ (200 穴や 288 穴以上)か、また仕上げ鉢への直播きも可能です。バーミキュライトか砂で覆土します。

発芽の日数は短く、3-5 日。 **バラード™**の発芽時の管理は(チャンパーでなく)ベンチの上で大丈夫です。

電照

電照は不要です。

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用いましょう。pH5.5-6.3、初期養分は EC 値*を 0.75mmhos/cm (1:2)程度に中庸に設計します。

温度(培地の地温)

18-24°C

照度

発芽後は照度レベルを 10,000-30,000 ルクス(1,000-2,500f. c.)にします。苗の生育にしたがって、照度を最高 54,000 ルクスにまで上げることも可能です。

水分

最初の本葉が展開する頃までは培地の水分は中庸に保ち、展開後は減らします。水を抑える場合は、苗を枯らせないように注意しましょう。

肥料

幼根が現れてから、15-0-15 の肥料を 50-75ppm(N) 与えます。子葉の育つにしたがって、肥料の濃度を 100-150ppm(N) に上げましょう。

矮化処理剤

プラグ生産ステージでは不要です。

ポット上げから出荷まで

コンテナサイズ: 目安は 13-15cm くらいの鉢(国内では 10.5cm、12cm が目安)に 1 株。冬生産の場合は、短日かつ光条件が質的にも量的にも低く、株が大きく育たないのでやや小さめのポットでも生産可能です。

一方、夏から秋にかけては、株、花とも大きくなり、さらに脇からの花も旺盛に上がってくるため、20cm くらいの大きな鉢を用意しましょう。20cm の鉢で 3 株定植が目安です。同じサイズの鉢に、1 本植えるのと複数定植では、複数定植の花は必然的に小さくなります。

培地

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用いましょう。土壌 pH を 5.8-6.5、初期養分は中庸に設計します。

温度

夜間温度: 18-20°C

昼間温度: 18-24°C

同じ生育条件下であれば、温度が高いほど生育は早くなります。実際の生産日数は、温度と一つの作型を選ぶかによって大きく異なります(下記の「日長条件」を参照)。

照度

照度のレベルは適正な温度条件下であればできるだけ高く維持しましょう。高い照度レベルを維持することで、堅固なステム、より大きな 1 番花、そして連続開花に向けてより多くの花芽が形成されます。

日長条件

バラード™は、周年開花する品種です。

日長試験の結果では、バラード™を10時間の条件で生産すると、14時間の長日条件と比べて1-2週早く開花します(短日の方が早い)。しかしながら、短日条件でなおかつ温度が低い場合は、下記の「栽培スケジュール」で示しているように、生産期間をより長くなります。

短日で同期化用に電照を用いて明期延長すると、実際の栽培期間は、場合によっては何もしない条件のときよりも1、2週長くなりますが、株を揃える効果が期待できます。逆に夏場の生産において、人為的に12時間の条件を作れば、通常よりも約1週、生産期間が短縮されます。

かん水

過湿にならないようにします。基本的には土は乾きぎみのドライな状態を維持し、水を与えるときは午前の子早いうちにたっぷりと与えます。午後遅い時間の水やりは控えましょう。これは夜間に葉上に水滴が残っていると、ウドンコ病にかかりやすい環境が作られてしまうからです。

肥料

1週間に一度、カリウム含量の高い肥料を200ppm(N)与えます。最適な肥料成分の割合は、窒素(=8)、リン(=1)、カリ(=10)、カルシウム(=4)、マグネシウム(=2)です。開花10日前を予測して施肥を止めるようにします。

矮化処理剤

短日条件下では矮化剤は不要です。短日でしかも低温条件であれば、草丈は20-30cmです。

一方、長日で温度の高い条件下では、草丈は50-60cmにまで達します。丈を抑制するには、最初は移植後14日目にBナインを2,500-5,000ppmで葉面散布します。効果を見て、適宜1、2回続けます。別の方法としては、やはり14日目にボンザイ3-5ppmのかん注も可能です。

いずれの矮化剤処理も、結果的に開花が約1週ほど遅れるでしょう。

ピンチ

ピンチは不要です。

ピンチの試験も行ってきましたが、あまり推奨はしていません。花芽分化の後すぐ、分極部からピンチをかけると、株の頂点に円状の配列で4ないし5の小さな花が上がってきます。ただし草姿のボリューム感は期待ほどの成果にはならないかもしれません。

栽培のスケジュール

播種からポット上げ(200穴トレイ使用): 2-3週

これよりも穴の大きなトレイを用いる場合はもう1週長く見ましょう。

ポット上げから開花: 7-8週(夏/秋)

8-9週(冬/春)

日照の弱い地域: 8-9週(夏/秋)

10-12週(冬/春)

予想される一般的な障害

害虫: アブラムシなど

病気: ウドンコ病など。ただしバラード™は、他の従来のヒマワリと比較してもウドンコ病にはかかりにくい性質を有する品種です。

*: EC値(電気伝導度)の数値は、北アメリカのピート主体の培地が算出要素になっているので、日本国内では適合し得ない場合もあります。

PanAmerican Seed

PanAmerican Seed Co.

622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698

630 231-1400 Fax: 630 231-3609 www.panamseed.com

© 2003 Ball Horticultural Company PAS04041 11/03

Originally released as PAS04041 in USA in 2003, and under admission translated into Japanese and revised in 2005

Printed In Japan

2005年4月改定